

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	キャリア形成実践B (Career Development Practice B)		
ナンバリングコード	B10316	大分類 / 難易度 科目分野	教養教育科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 集中
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A034004	クラス名	-
担当教員名	濱田 大助		
履修上の注意、履修条件	本科目は、企業や団体等が実施するキャリア形成につながる延べ80時間程度(例:8時間×10日)以上のプログラムを受講、活動することで単位認定される認定制科目(履修登録不要)です。便宜上1年次に開講されていますが、大学に在籍するとの時期に実施しても、それぞれの時期に相応する取り組みにより、有意義な成果を得ることができます。通常の履修登録による履修ではなく、研修後に提出された日誌や企業等からの所見により成果を評価し単位を認定する「認定制科目」とします。活動前に必ず進路開発センターで必要な手続きを行ってください。		
教科書	特に指定しません。		
参考文献及び指定図書	研修中に、適宜紹介される場合があります。事前研修担当者や企業等担当者の指示に従ってください。		
関連科目	社会参画入門、社会参画実習、人間力コア科目／キャリア科目など		

○基本情報			
授業の目的	多様性や専門性が重視されるなか、転職や起業も一般化していくことが想定されます。そのため、社会人には、自らのキャリアを自律的にデザインする能力の向上が欠かせません。学生も、学生時代の早い段階から、主体的に自らのキャリア形成について考えることが重要です。本科目では、企業や団体等が実施する働くことへの理解を深めるためのプログラムや、キャリア形成につながる活動に学生自身が自ら積極的に参加し、活動を通じて社会人としての基礎的な能力を養い、将来の自律的なキャリア形成の獲得に向けたきっかけをつかむことを目的とします。		
授業の概要	本科目は、「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」により定義された「タイプ2:キャリア教育」に該当するプログラムや、企業や団体等が実施するキャリア形成につながるプログラムに学生自身が自ら参加することを想定しています。延べ80時間程度にわたるプログラムを通じて、企業や団体の仕事内容や社会との関わりを間近で体感し、自身のキャリアを考えるきっかけを掴みます。企業訪問やボランティア活動、社会活動など、実践的な活動を通して、社会人としての基礎的な能力を養い、将来のキャリア設計に繋がる経験を積みます。活動を有意義なものとするため、以下の「授業内容」の通り、事前研修等と合わせて実施します。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「実験・実習形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」	
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	働くことや社会と関わることに関心を持ち、当事者意識をもつことができるようになる。		20点	
【知識・理解】	働くことや社会と関わることへの理解を深めることができる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	①実践的な活動を通して、社会人としての基礎的な能力を養うことができる。②日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者からフィードバックを受けるなどコミュニケーションを取ることができる。		40点	
【思考・判断・創造】	活動を通じて自らのキャリア(職業観・就業観)を考えることができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
出席状況(全出席が前提)と日誌の内容、企業等担当者による評価、研修報告の内容により成績を評価します。課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。	

○その他	
受け入れ先の企業や団体等に対し失礼とならないよう、誠意と熱意をもって活動してください。	
受け入れ先の企業や団体等は、わざわざ学生を受け入れるためにコストを費やし、学生のためのプログラムを組まなければなりません。研修期間中に指導する社員や担当者は通常業務ができません。また、受け入れ先の企業や団体等から見れば、実習生は日本文理大学の代表です。一人一人が本学の学生の象徴であることを自覚し、相応しい態度で臨んでください。研修期間中の遅刻、欠席は厳禁です。	
採用と大学教育の未来に関する産学協議会「何が変わるの? これからのインターンシップー自分のキャリアを考えるために今できることー」学生用リーフレット https://www.sangakukyogikai.org/_files/ugd/4b2861_59199b114cf846d0adcee040fa61caf3.pdf	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	キャリア形成実践B (Career Development Practice B) 濱田 大助	授業コード	A034004
学修内容				
1. キャリア形成プログラムガイダンス キャリア形成プログラムの概要と受け入れ先の企業や団体等に関する説明をします。 ※履修登録は不要ですが、事前に進路開発センターで必要な手続きを行ってください。				
予習	当該のキャリア形成プログラムについて調査する			(約2.0h)
復習	ガイダンス復習			(約2.0h)
2. キャリア形成プログラム事前研修 基本的なマナーから自己分析、関連業界研究に至るまで、自分の将来を考え、キャリア形成プログラムをより有効的なものにするための研修です。社会人として身につけるべきマナーについて学ぶとともに、コミュニケーションの方法、実習先の業界に対する研究をします。 ※この研修に参加しないと、キャリア形成プログラムには参加できません。				
予習	事前研修の内容確認			(約2.0h)
復習	事前研修の内容把握			(約2.0h)
3. キャリア形成プログラムエントリーシートの作成 自己分析と関連業界研究を実施し、現時点での自分の今後のキャリアを考えます。また、企業や団体等に提出するエントリーシートの作成をします。				
予習	エントリーシート作成			(約2.0h)
復習	エントリーシート修正			(約2.0h)
4. 企業等の選択 エントリーシートをもとにキャリア形成プログラム受講先を探します。 企業と学生の希望を照らし合わせ、キャリア形成プログラム受講先を決定します。 ※進路開発センターで覚書、誓約書、保険等の手続きをします。				
予習	キャリア形成プログラム希望先の調査			(約2.0h)
復習	必要事項の確認			(約2.0h)
5. キャリア形成プログラムの実施 実際に企業等に通い、研修や活動を行います。研修期間は企業等によって異なる場合があります。「キャリア形成実践B」では企業や団体等が実施する延べ80時間程度(例:8時間×10日)以上のキャリア形成プログラム(企業研修やボランティア活動、社会活動など)を対象とし単位認定します。研修中は従業員と同様、その企業等の規則に従って研修、活動を行ってください。就業体験を含む場合があります。日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただきます。				
予習	業務内容または活動内容の確認			(約2.0h)
復習	日誌および報告書の作成			(約2.0h)
6. キャリア形成プログラムの実施 実際に企業等に通い、研修や活動を行います。研修期間は企業等によって異なる場合があります。「キャリア形成実践B」では企業や団体等が実施する延べ80時間程度(例:8時間×10日)以上のキャリア形成プログラム(企業研修やボランティア活動、社会活動など)を対象とし単位認定します。研修中は従業員と同様、その企業等の規則に従って研修、活動を行ってください。就業体験を含む場合があります。日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただきます。				
予習	業務内容または活動内容の確認			(約2.0h)
復習	日誌および報告書の作成			(約2.0h)
7. キャリア形成プログラムの実施 実際に企業等に通い、研修や活動を行います。研修期間は企業等によって異なる場合があります。「キャリア形成実践B」では企業や団体等が実施する延べ80時間程度(例:8時間×10日)以上のキャリア形成プログラム(企業研修やボランティア活動、社会活動など)を対象とし単位認定します。研修中は従業員と同様、その企業等の規則に従って研修、活動を行ってください。就業体験を含む場合があります。日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただきます。				
予習	業務内容または活動内容の確認			(約2.0h)
復習	日誌および報告書の作成			(約2.0h)
8. キャリア形成プログラムの実施 実際に企業等に通い、研修や活動を行います。研修期間は企業等によって異なる場合があります。「キャリア形成実践B」では企業や団体等が実施する延べ80時間程度(例:8時間×10日)以上のキャリア形成プログラム(企業研修やボランティア活動、社会活動など)を対象とし単位認定します。研修中は従業員と同様、その企業等の規則に従って研修、活動を行ってください。就業体験を含む場合があります。日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただきます。				
予習	業務内容または活動内容の確認			(約2.0h)
復習	日誌および報告書の作成			(約2.0h)

○授業計画	科目名 担当教員	キャリア形成実践B (Career Development Practice B) 濱田 大助	授業コード	A034004
学修内容				
9. キャリア形成プログラムの実施 実際に企業等に通い、研修や活動を行います。研修期間は企業等によって異なる場合があります。「キャリア形成実践B」では企業や団体等が実施する延べ80時間程度(例:8時間×10日)以上のキャリア形成プログラム(企業研修やボランティア活動、社会活動など)を対象とし単位認定します。研修中は従業員と同様、その企業等の規則に従って研修、活動を行ってください。就業体験を含む場合があります。日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただきます。				
予習	業務内容または活動内容の確認			(約2.0h)
復習	日誌および報告書の作成			(約2.0h)
10. キャリア形成プログラムの実施 実際に企業等に通い、研修や活動を行います。研修期間は企業等によって異なる場合があります。「キャリア形成実践B」では企業や団体等が実施する延べ80時間程度(例:8時間×10日)以上のキャリア形成プログラム(企業研修やボランティア活動、社会活動など)を対象とし単位認定します。研修中は従業員と同様、その企業等の規則に従って研修、活動を行ってください。就業体験を含む場合があります。日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただきます。				
予習	業務内容または活動内容の確認			(約2.0h)
復習	日誌および報告書の作成			(約2.0h)
11. キャリア形成プログラムの実施 実際に企業等に通い、研修や活動を行います。研修期間は企業等によって異なる場合があります。「キャリア形成実践B」では企業や団体等が実施する延べ80時間程度(例:8時間×10日)以上のキャリア形成プログラム(企業研修やボランティア活動、社会活動など)を対象とし単位認定します。研修中は従業員と同様、その企業等の規則に従って研修、活動を行ってください。就業体験を含む場合があります。日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただきます。				
予習	業務内容または活動内容の確認			(約2.0h)
復習	日誌および報告書の作成			(約2.0h)
12. キャリア形成プログラムの実施 実際に企業等に通い、研修や活動を行います。研修期間は企業等によって異なる場合があります。「キャリア形成実践B」では企業や団体等が実施する延べ80時間程度(例:8時間×10日)以上のキャリア形成プログラム(企業研修やボランティア活動、社会活動など)を対象とし単位認定します。研修中は従業員と同様、その企業等の規則に従って研修、活動を行ってください。就業体験を含む場合があります。日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただきます。				
予習	業務内容または活動内容の確認			(約2.0h)
復習	日誌および報告書の作成			(約2.0h)
13. キャリア形成プログラムの実施 実際に企業等に通い、研修や活動を行います。研修期間は企業等によって異なる場合があります。「キャリア形成実践B」では企業や団体等が実施する延べ80時間程度(例:8時間×10日)以上のキャリア形成プログラム(企業研修やボランティア活動、社会活動など)を対象とし単位認定します。研修中は従業員と同様、その企業等の規則に従って研修、活動を行ってください。就業体験を含む場合があります。日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただきます。				
予習	業務内容または活動内容の確認			(約2.0h)
復習	日誌および報告書の作成			(約2.0h)
14. キャリア形成プログラムの実施 実際に企業等に通い、研修や活動を行います。研修期間は企業等によって異なる場合があります。「キャリア形成実践B」では企業や団体等が実施する延べ80時間程度(例:8時間×10日)以上のキャリア形成プログラム(企業研修やボランティア活動、社会活動など)を対象とし単位認定します。研修中は従業員と同様、その企業等の規則に従って研修、活動を行ってください。就業体験を含む場合があります。日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただきます。				
予習	業務内容または活動内容の確認			(約2.0h)
復習	日誌および報告書の作成			(約2.0h)
15. キャリア形成プログラムの実施 実際に企業等に通い、研修や活動を行います。研修期間は企業等によって異なる場合があります。「キャリア形成実践B」では企業や団体等が実施する延べ80時間程度(例:8時間×10日)以上のキャリア形成プログラム(企業研修やボランティア活動、社会活動など)を対象とし単位認定します。研修中は従業員と同様、その企業等の規則に従って研修、活動を行ってください。就業体験を含む場合があります。日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただきます。				
予習	業務内容または活動内容の確認			(約2.0h)
復習	日誌および報告書の作成			(約2.0h)
16. 研修報告 キャリア形成プログラムを通して感じたこと、経験したことを踏まえ、自分が将来どうあるべきか、そのためにはどうするべきかを考え、報告します。				
予習				
復習				